

1 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

中期取組目標
(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校をつくります。 (2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づかれた開かれた学校をつくります。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	① 子どもたちの課題に即し、行事や各教科とも連携した道徳授業に取り組みます。 ② 「けが0プロジェクト」「なかよし活動」を核とした委員会活動・異学年交流等、子ども主体の生活づくりを進め、互いを思いやる気持ちを育みます。
担当	③ 地域や社会と関わる機会を増やし体験を通して多様な人々への共感を育みます。 児童支援部

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は、全体的に落ち着いて穏やかに生活しています。また、何事にも一生懸命に取り組む姿勢がみられます。地域からの協力も得られており、子どもたちも地域の行事には積極的です。

しかし、次の点が課題として挙げられます。

自分に対する課題としては、「自分からすすんであいさつをすること」や、「自分に自信がなく自分の考えを積極的に話すこと」に苦手意識をもっています。

他者に対する課題としては、人の話をすすんで聞いたり、学校のきまりを守って生活することができなかつたりする傾向がみられます。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【道徳教育】行事や各教科とも連携した道徳教育の創造

- ・全学級の道徳公開授業を年1回以上実施します。
- ・行事や学級・学年活動・各教科の学習との関連を測りながら、子どもたちが自分の生活に立ち返って、互いに考えを深め合えることができるようにします。

【自分づくり教育】主体的な生活づくり

- ・「けが0プロジェクト」を核として委員会活動を活性化させ、委員会の提案より学校全体が取り組みます。
- ・「なかよし活動」や「クラブ活動」など6年生をリーダーとした異年齢集団活動をより自主的、意欲的にを行い、自分たちの手で学校生活をつくる実感がもてるようにします。
- ・一人ひとりが見通しをもつことで安心して自分らしさを発揮し、自分をよりよく高めていく力を育みます。
- ・子どもたちの興味・関心をもつものや必要感のあるものなど価値のある課題を設定し、PDCAサイクルで授業改善をはかります。

【人権教育と特別支援教育】確かな人権感覚・意識の育成

- Y-P アセスメントの支援検討会の実施により、学級の課題の改善や個人の課題の改善に向けて校内の指導体制を整え、教師が「だれもが安心して豊かに」過ごすことができる学級風土づくりへ向けた協働ができるようにします。
- 必要な子どもに対して個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成します。
- 一般学級の子どもは、授業や学校行事等で個別支援級の児童と一緒に過ごすことを通して、学び合いながら相互理解を深めていきます。

【様々な教育の場の連携】

- 姉妹校（ムーニーポンズウエスト小学校やラドバーン小学校）と交流して、日本の伝統・文化を尊重するとともに、異文化への理解を深めるようにする。
- 地域の行事等に子どもたちが参加できる等、子どもたちの自尊感情が育つようなかかわりを推進してもらうとともに、学校の教育活動にも積極的にかかわってもらうようにします。
- どの子にも分かりやすい生活環境を考え、支援の工夫を測り、子どもが自分で、困っていることや分からないことを相談できるようにします。関係機関との連携や保護者との協力体制を構築していきます。